

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども未来館
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2571
	取組方針	心身の成長への支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	こども未来館わくわく体験事業			

【事業全体概要】

事業概要	子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流、子育てに係る支援並びに学習及び体験活動の場として、子どもの夢や想像力を育むとともに、健やかな成長に資するため、遊びや科学、アートなどの体験活動を提供するイベントプログラムや親子で参加できる体験イベント等の様々な魅力ある事業を提供し、継続的な利用を促進する。				
年度概要	公募プログラム等：6日 こども未来館まつり等 ・開館記念日（11月23日）イベント：1日 ・遊び体験プログラム（通年）：16日				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-⑦	関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	子どもを中心とした幅広い世代の人々
意図（どのような状態にしたいか）	魅力あるイベントプログラムを提供することにより、子どもを中心とした幅広い世代の人々の来館を促すとともに、継続的な利用を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① わくわく体験事業開催日数	日	0	0	22	18	18
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	わくわく体験事業参加者数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	4,100 8,750	4,100	4,100
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）			（目標達成度） 213.4% （得点） 35点				
成果指標②	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）			（目標達成度） （得点）				

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	11,224	13,177	13,598	13,504
	(事業費)	1,869	1,886	2,018	1,924
	(職員人件費)	9,355	11,291	11,580	11,580

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	公募プログラム等：6日 こども未来館まつり等 ・開館記念日（11月23日）イベント：1日 ・遊び体験プログラム等（通年）：15日	公募プログラム等：1,350千円 こども未来館まつり等：668千円	総額	2,018	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
			他	200	
一般財源	1,818				
令和 7 年度	公募プログラム等：6日 こども未来館まつり等 ・開館記念日（11月23日）イベント：1日 ・遊び体験プログラム（通年）：16日	公募プログラム等：1,283千円 こども未来館まつり等：641千円	総額	1,924	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
			他	0	
一般財源	1,924				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	100 / 100 (100%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
公募プログラム「なりきり車掌体験」では、HOGージ操縦体験や段ボールクラフト工作などを実施し、子どもたちの好評を得た。こども未来館まつりでは、バーチャル宇宙飛行士選抜試験や宇宙プログラマー体験など、デジタル技術を活用した宇宙体験ができるイベントを実施した。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
今後も公募プログラムやこども未来館まつり等、魅力ある体験型イベントを開催する。						

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども未来館
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2571
	取組方針	心身の成長への支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	子ども・子育て支援事業			

【事業全体概要】

事業概要	みんなのひろばとプレイルームを子どもと保護者の居場所として提供するとともに、子ども・子育ての相談に対応する。また、専門相談が必要な場合は、適切な機関に取次ぎを行う。				
年度概要	●子ども・子育て支援事業 ・子育てに関する相談・事後対応 ・子どもと保護者の居場所提供事業				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-⑦	関連根拠法令	

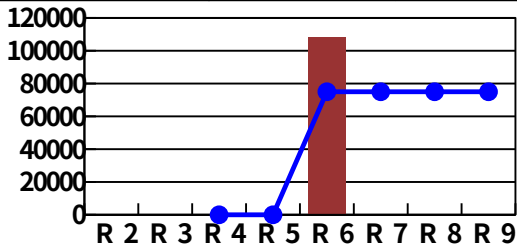
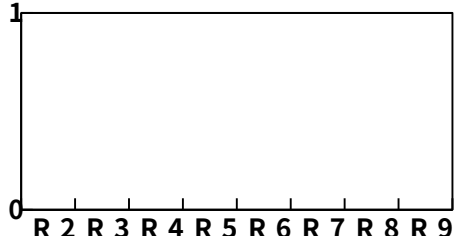
【事業の目的】

対象（何を）	小学校2年生までの子どもと保護者
意図（どのような状態にしたいか）	みんなのひろばとプレイルームを子どもと保護者の居場所として提供し、子どもと親がともに育ち合う子育て支援機能とふれあい・交流による多世代交流機能を果たすことを目的としている。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	みんなのひろば・プレイルームの開室日数	日	0	0	308	308	308
②							

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	みんなのひろば・プレイルーム利用者数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	75,000 108,278	75,000	75,000
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	タイムスケジュールや定員の変更を行い運営したことにより、みんなのひろば・プレイルーム利用者数は目標の1.4倍に達した。			(目標達成度) 144.4%				
				(得点) 35点				
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)				
				(得点)				

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成		課(室)名	こども未来館
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2571
	取組方針	心身の成長への支援		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	こども未来館学習体験事業			

【事業全体概要】

事業概要	子どもたちの想像力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的として、こども未来館の施設を利用した体験的な学習活動を実施する。また、こども教室の開催やプラネタリウムの投影など、楽しく学べる場所を提供する。				
年度概要	●学修事業 ・こども未来館学習の実施 ・こども教室の実施 ●体験事業 ・不要品を使ったアート体験プログラムの実施				
重点取組事業		市長マニフェスト	1-⑦	関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市内の小学校4年生、ただし、学校の状況により5年生以上、学校の希望により中学校を対象に実施できる。瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小・中学生も受け入れ可能。こども教室は小学生以下を対象。
意図（どのような状態にしたいか）	こども未来館の施設を活用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの想像力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
① こども未来館学習実施学校数	校	0	0	64	63	63
②						

【事業の成果】

成果指標①	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	こども未来館学習実施延べ人数	人	目標値 実績値	0 0	0 0	4,000 4,853	4,000	4,000
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）			64校（瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校11校と市内中学校5校を含む）がこども未来館学習を実施し、目標の1.2倍を超える人が学習体験を行った。 (目標達成度) 121.3% (得点) 35点				
成果指標②	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）			(目標達成度) (得点)				

【コストの推移】

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)
トータルコスト	[千円]	49,733	49,087	53,254	51,400
(事業費)	[千円]	36,636	37,796	41,674	39,820
(職員人件費)	[千円]	13,097	11,291	11,580	11,580

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	●学習事業 ・こども未来館学習の実施 ・こども教室の実施 ●体験事業 ・不用品を使ったアート体験プログラムの実施 ・科学体験プログラムの実施 ・プラネタリウム投影	月額パートタイム報酬等20,252千円、未来館学習関係3,924千円、こども教室関係110千円、プラネタリウム関係13,588千円、体験プログラム（アート、科学体験等）2,508千円、展示品等保守点検等1,292千円	総額	41,674	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	3,434
一般財源	38,240				
令和 7 年度	●学修事業 ・こども未来館学習の実施 ・こども教室の実施 ●体験事業 ・不要品を使ったアート体験プログラムの実施 ・科学体験プログラムの実施 ・プラネタリム投影	月額パートタイム報酬等20,650千円、未来館学習関係3,892千円、こども教室関係120千円、プラネタリウム関係11,476千円、体験プログラム（アート、科学体験等）2,500千円、展示品等保守点検等1,182千円	総額	39,820	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	3,739
一般財源	36,081				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	98 / 100 (98%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
こども未来館学習については、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の小学校からの参加もあり、好評を得ている。実施した学校からの意見等を検討し、より良いものになるよう見直しを図る必要がある。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
こども未来館学習を実施した学校からの意見等を踏まえて、更により良いものになるよう見直しを図りたい。						